

RS485の制御コマンド（コマンドテーブル）について

2016年9月

WJ(DG)-GXE100およびWJ(DG)-GXE500に接続したCCTVカメラをRS485通信を使用して制御することができます。

GXE100およびGXE500に内蔵されているプロトコルは、Panasonic・Pelco-D・Pelco-Pになります。

※ご注意：GXE500に関してはV1.40以降であることが条件となります。

上記以外のプロトコルについては、本機の「カメラ」ページの[RS485]タブメニューの「プロトコル」で「Custom」を選択し、下記の「コマンドテーブルをFTPでアップロードする手順について」を参照し、本機にコマンドテーブルをアップロードしてください。

本機に内蔵されているPanasonicプロトコルは、PT制御の速度分解能が256段階のCCTVカメラをサポートしています。

生産終了した弊社製CCTVカメラ品番(2013年2月時点)によっては、PT制御が正常に動作しない場合があります。

この場合、「プロトコル」で「Custom」を選択し、下記品番に対応したコマンドテーブルを本機にアップロードしてください。

PT制御の速度分解能	対象CCTVカメラ	ファイル名	備考
「256」の場合	・ WV-CS58xシリーズ、WV-CW59xシリーズ ・ WV-CS95xシリーズ、WV-CW96xシリーズ、 WV-CW97xシリーズ ・ WV-CS57xシリーズ、 ・ WV-CS85xA/Bシリーズ、 WV-CW86xA/Bシリーズ	※コマンドテーブルのアップロードは不要です。 「プロトコル」を「Panasonic」に設定してご使用ください。	2018.1.26
「16」の場合	・ WV-CS85xシリーズ (WV-CS85xA/Bシリーズを除く) ・ WV-CW86xシリーズ (WV-CW86xA/Bシリーズを除く)	 [3.4KB] RS485_pana16.zip	2016.9.26
「2」の場合	・ WV-CZ35xシリーズ ・ WV-CZ36xシリーズ ・ 「256」「16」に該当しない機種	 [3.4KB] RS485_pana2.zip	

■RS485でPT制御非対応CCTVカメラ品番

- ・ WV-CWxxxシリーズ（上記以外のバンドル型カメラ）
- ・ WV-CPxxxシリーズ（箱型カメラ）
- ・ WV-CPRxxxシリーズ（箱型カメラ）
- ・ WV-CFxxxシリーズ（ドーム型カメラ）
- ・ WV-CLxxxシリーズ（超高度型カメラ）
- ・ WV-CLRxxxシリーズ（超高度型カメラ）

■コマンドテーブルのアップロード手順

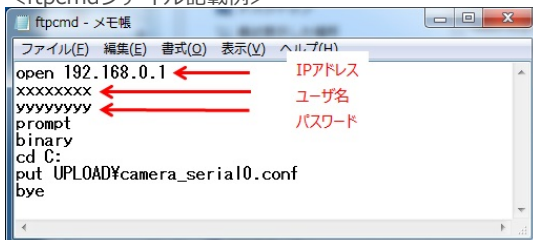
- (1) パナソニックサポートサイトより上記に該当するコマンドテーブルのファイルをPCにダウンロードする。
- (2) PCにダウンロードしたzipファイルを解凍する。
- (3) 解凍して作成された「RS485_panaxx」フォルダ内の「upload.bat」を実行する。
コマンドテーブルのアップロードが完了すると、本機は再起動します。

＜お知らせ＞

- ・ あらかじめ本機の設定メニューで下記を実施してから、「upload.bat」を実行してください。
解凍して作成された「RS485_panaxx」フォルダ内の「ftpcmd」をテキストエディタ（例：メモ帳）で編集する。

- ① 「ネットワーク」ページの[ネットワーク]タブで、「IPアドレス(IPv4)」を1行目に記載する。
- ② 「ネットワーク」ページの[ネットワーク]タブで、「本機へのFTPアクセス」を「許可」に設定する。
- ③ 「ユーザー管理」ページの[ユーザー認証]タブで、管理者ユーザーの「ユーザー名」を2行目に、「パスワード」を3行目に記載する。

＜ftpcmdファイル記載例＞



- ④ 「カメラ」ページの[RS485]タブで、「プロトコル」を「Custom」に設定する。設定後に再起動が実行されます。
- ・ 本機の設定メニューの[RS485]タブで、「ユニットアドレス」に対象機器のアドレスを16進数表記で設定してください。
 - ・ 本機の設定を初期化すると、コマンドテーブルも初期状態に戻ります。
この場合、必要に応じて再度アップロードしてください。
 - ・ コマンドテーブルのファイル名は、camera_serial0.confのみ有効です。
ファイル名を変更すると正常に動作しません。

■RS485コマンドテーブルの作成

弊社製CCTVカメラ及びPelco-DやPelco-Pプロトコル対応機器以外をRS485で制御する場合には、コマンドテーブルを新たに作成または編集して、本機にアップロードします。コマンドテーブルを新たに作成または編集した場合に関して、弊社はいかなる責任も負いません。作成または編集の際には、以下を参考にしてください。尚、コマンドテーブルのファイル名は、camera_serial0.confのみ有効です。ファイル名を変更すると正常に動作しません。

<共通>

- [1] 「=」 から開始する行はコメント文として扱われ、本機でのRS485制御には影響を与えません。
- [2] RS485コマンドテーブルのファイルサイズは、1ファイルあたり最大20KBとしてください。

<CAMERA INFORMATION>

・CAMERA_TYPE

弊社製CCTVカメラを使用する場合は「PANASONIC」に、Pelco-D対応機器を使用する場合は、「PELCO D Protocol」、Pelco-P対応機器を使用する場合は「PELCO P Protocol」に設定します。「PANASONIC」に設定して、且つ設定メニューの[RS485]タブで「通信方式」を「2線式」に設定した場合には、「RON:7」コマンドが送信されます。

・VER
・PAN_TILT_SPEED
・ZOOM_SPEED

本機でのRS485制御には影響を与えません。
RS485コマンドテーブルを編集する際の、管理情報としてご使用ください。

・DATA_FORMAT

対象機器とASCIIデータで通信する場合は「TEXT」に、バイナリデータで通信する場合は「BIN」に設定します。

・ADDRESS

本機でのRS485制御には影響を与えません。
設定メニューの[RS485]タブで、「ユニットアドレス」を制御するCCTVカメラのユニット番号に合わせて設定してください。

<SET UP A PRESET POSITION>

<SET UP A AUTO FOCUS>

<SET UP A AUTO PAN MODE>

<SET UP A BLACK AND WHITE(COLOR) MODE>

<SET UP A MAINTENANCE MENU>

<SET UP A PAN&TILT&ZOOM&FOCUS&IRIS>

<OTHER>

- 左辺(以下、コマンドキー)と右辺(以下、データ部)を「=」で繋いで記載します。
- 本機を操作することで、該当のコマンドキーが選択されます。
- コマンドキーを変更することはできません。
- 選択されたコマンドキーに相当するデータ部が送信されます。送信データを変更したい場合は、データ部の記載を変更します。
- 「%x…%」とすることで16進数を表現します。例えば、「%x02%」はSTX(0x02)を表します。
- 以下の代替文字を使用することで、可変数をデータ部に設定することができます。
 - ・ %addr% 設定メニューで設定した「ユニットアドレス」に変換されます。
 - ・ %pn4b% PAN速度 (4ビット:1文字)に変換されます。
 - ・ %pn8b% PAN速度 (8ビット:2文字)に変換されます。
 - ・ %tl4b% TILT速度 (4ビット:1文字)に変換されます。
 - ・ %tl8b% TILT速度 (8ビット:2文字)に変換されます。
 - ・ %zm4b% ZOOM速度 (8ビット:2文字)に変換されます。
 - ・ %pr8b% プリセット番号 (8ビット:2文字)に変換されます。
 - ・ %pr12b% プリセット番号 (12ビット:3文字)に変換されます。
 - ・ %bcc(x,y)% xを開始位置、yを終了位置として算出したチェックサムに変換されます。
x, yまたはx, yの双方を省略することもできます。
- 代替文字には、必要に応じて演算を追加して使用することもできます。
 - 例) %pr8b+0xFF%
弊社製CCTVカメラのRS485制御仕様ではプリセットA番への移動は、「A-1」というデータを送信する必要があり、0xFFを加算した%pr8b+0xFF%の代替文字を使用します。

■シリアルポート(RS485準拠)でのコマンド送信

本機は、PCからUDP 52000番ポートでの受信データをシリアルポート(RS485準拠)から送信する機能があり、任意のコマンドをPCから接続したアナログカメラに直接送信することができます。通信設定は、本機の設定メニュー「カメラ」ページの[RS485]タブの「RS485設定」での設定内容が適用されます。